

スズムシの飼い方

飼育スタートの前にはすること (市民センター受取の前に)

① 準備するもの

- (1)飼育ケース・土を入れる(市販の鈴虫マットなど)
- (2)隠れ家になるもの(素焼きの植木鉢、かまぼこ板、割りばし炭など)

※植木鉢の代わりにリンゴ・モモ・トマト・卵などの紙製のケースが便利)

※必要な方にはリンゴやトマトのケースを数枚ずつ差し上げます。
※割りばしやかまぼこ板は、脱皮するとき登っていき安全を確保することができます。

- (3)エサ 野菜(ナス・キュウリ) 動物性のエサ(煮干し・かつおぶしなど)
市販のエサには、植物性・動物性の成分が入っていて便利です。

- (4)霧吹き スズムシは湿気の多いところを好みます。体への直接噴射はNGです。

② セットする。(霧吹きして土を湿らせる。隠れ家や割りばし、餌を入れる。)

脱皮を繰り返して、8月初旬～中旬ぐらいに成虫になり、鳴き始めます。



センターで鈴虫の幼虫を受け取って帰宅したらできるだけ早く準備したケースに入れてください。

スズムシ飼育のコツ付け足しです！

スズムシは、雑食性でニボシなどなんでも食べます。スズムシのエサも市販されているので、飼育が楽な昆虫です。10匹前後の幼虫を入れてください。

えさ えさは、スズムシのエサを皿にのせたり、キュウリやナスの輪切りに

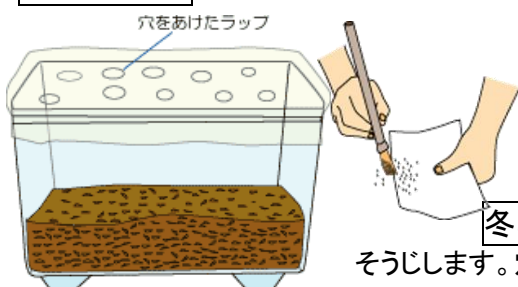
つまようじや竹ぐしにさして土に立てたりします。

世話 土がかわかないように、ときどき霧ふきで水分をあたえます。

スズムシの体に直接水を吹きかけないようにします。ケースの壁に吹きかけるといいです。



ふんのそうじ ふんが目だってきたら、筆ではき集め、とりのぞきます。



冬ごしのさせ方

成虫が卵を産んで死んでしまったら ふんやたべのこしをそうじします。穴をあけたラップでおおい、温度変化の少ない場所におきます。春になったらラップをとってふ化をまちます。

来年 命が続いていきますように！！



幅 28～30 cm 以上
はしいです。